



爽 緑

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.9 令和5年7月20日

令和5年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」 ～かしこく やさしく たくましい 明神っ子～
『学校は子どもにとってワクワク・ドキドキできる場所』

1 学期が終了しました

本日1学期の終業式を終え、明日からは、子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。終業式では、過去の教え子で、高校時代に部活動で日本一になった生徒の話をもとに次の2つについてお話をしました。

〈1〉『いつも前向きな言葉を自分にかけている』

- ・「～ができるようになりたいな。」ではなく「～ができるようになる。」という言葉が発することが大切です。
- ・「どうせ自分なんかには・・・」や「～がしたいけれど、自分には無理だ。」といったマイナス的な言葉は絶対に使わない。

◇自分がつぶやく言葉や、会話の中で発している言葉は、無意識のうちに関心する自分自身の中に植え付けられるそうです。日頃、どんな言葉が発しているのかが大切です。前向きな言葉を自分に植え付けている人には、前向きな結果が待っています。

◇例えば、「テストで100点とりたいな。」ではなく、「テストで100点をとる。」「テストで100点がとれる。」「鉄棒で逆上がりができるようになるかなあ。」ではなく、「必ず逆上がりができるようになる。」という「前向きな言葉」を自分自身にかけてください。



〈2〉『言い訳をしない』

- ・「今日は寝不足だから～をしたくない。」「疲れているから～をやりたいくない。」「やろうと思っていたけれど、注意をされたからやる気をなくした。」というような、できない理由を「誰かのせい」にしたり「何かのせい」にしたりしていませんか。

◇言い訳をすることが当たり前になってしまうと、自分の可能性にもふたをすることになります。



明神小の子どもたち全員に無限の可能性が広がります。

各自の目標に向かって、「前向きな言葉を自分に向け」、「言い訳をせず」、健康で充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。

保護者の皆様、今学期も本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

第2回廃品回収

7月9日（日）に第2回の廃品回収が行われました。

今回も、親師会の総務役員さんを中心に朝早くからご協力をいただき、たくさんの資源を回収することができました。収益は、行事等の教育活動や学習環境の整備に使わせていただいています。ご協力ありがとうございました。